

多機能体育館建設に対するアンケート調査結果に伴う「意見交換会」意見概要

日 時 平成 15 年 7 月 25 日 (金) 19:00 ~ 20:20
会 場 市民文化センター (サンアゼリア) 小ホール
市 民 75 名
市側出席者 市長 助役 教育長 総務部長 教育部長 建設部長 職員 7 名 担当職員 7 名

体育館を作るということですが、テニスコートと野球場がございますね、その向かい側に体育館あるんじゃないですかね。あと、中央公民館ですか、あそこにも体育館みたいな物ありますね。なんでそんなに体育館がいるんですかね。和光市は、なんか財政状況はいいみたいですけど、この 15 年も前のバブルを考えたら、なんで今ごろやろうとすんのかわかりませんね。

アンケートをとって参考にすると、おっしゃることは分るんですが、その取り方としまして、先程画面にも出ました、建築コスト 20 億円ですか、で 年間維持費が 1 億円、これはアンケートの 2,000 名の方に、それは多分出してませんよね、で それを出した上で必要でないか必要かというふうにしないと、アンケートまったく意味ないです。そうですよね。だってさ食堂でもなんでも値段があって、それでどうしようか決めるわけだからさ、おいしいか、まずいか決まるわけでしょ。プロ野球選手の年俵だってそれで決まるわけじゃないですか。値段がなくてアンケート取るなんて、極めてナンセンスですよ。で 是非もう一回取ってください。その建築コストを出したうえで、これだってアメが欲しいか、欲しくないかのレベルでしょ。アメをくださるといったら誰でも、貰っておいた方が特だなという答えは、誰でも出てきますよ。当然、それをやってくないとまったく意味ないです。アンケート取ってください。(教育部長説明)

まあ、そのことは分りました。でもどの程度アピールしてアンケートに書いたか、僕は疑問に残ります。もうちょっと考えて取った方が良くないじゃないですか、無作為にやるのなら違う所に無作為に 2,000 人やるとか、それとあと過半数を、いずれにしてもなってませんよね、この今回のアンケートでは、「はい」が 305 人ですよ、体育館が必要かどうか 44.92 パーセント、これは僕は過半数を得てないと判断すべきだと思います。「どちらとも言えない」160 人、これを加えて過半数になりましたという、こんな尊重のしかた、考え方は是非辞めていただきたいと思います。以上です。

私は、体育館を即刻作ってもらいたい、そういう考えの持ち主なんです、まず、市です、体育館を作らなくてはいけないということで、この 10 年ぐらいずっと市議会も考えて、土地も探してたわりには、市民に対してですね、体育館を作ることのメリット、デメリットこういう良い所があるとか、こういうことを広報紙で教えてもらったことがないんですよ。そして、このア

アンケート調査に関しても パッとでて、それで答えは「はい」の人が 44.92 パーセント、「どちらでもいい」が 23.56、「いいえ」が 31.52、まあ公正に考えれば、4対3でどちらでも良いという人を分ければ良いと思うんですよ。そうすれば過半数を超えているし、半分で分けたって超えているわけで、市の方からなんの情報もほとんど与えられないで、急にアンケートということがやられて、やはり「はい」の方が多いいいことは重視すべきだろうと思うのです。それから、なんか市議会の方で、今ごろ体育館はいらないじゃないか、というようなことが出た、とちょっと聞いてますけども、私どもはこの 10 年間、土地を早く決めてくれないかと、固唾を飲んでですね、土地が決まるのを待っていました訳ですね、ですから体育館をちゃんと建ててくれるということとを前提に待っていたわけで、市にあまり文句を言わなかったというか、そういう事態なのに、黙って我々がですね、意見を言わなければ、もう体育館はいらないじゃないかということ、言うという人がいるということですね、議員として僕は驚いてしまう訳です。以上

これは市の生涯学習課のカウンターにおいてある、来年度の国体の案内パンフレットです。皆さんご案内のように、埼玉県には 41 の市があるのですが、この国民大会になんの関わりを持たないのが、残念ながら、この和光市だけなのですね。村とか町で関わりのない所もありますが、41 市の中で、関わりを持たないのが、我が和光市だけなのです。実は来年の 9 月ですか、今もう盛んに各種目ごとのリハーサル的な競技が行われています。水泳も今日、明日、あさってと青木公園のプールで関東大会が行われておりまして、私は、競技役員としてお手伝いしてまいりましたが、仮にもしとか、たらとかあまり言いたくないのですが、樹林公園の中に体育館ができていたら、バドミントンなのか卓球なのか、何らかの競技が、国体の競技が開けたはずなんですね。すると、全国から選手がやってきます。そして我々は、心から声援を送る、樹林公園では選手達と歓談ができるというか、いわゆる出会いが持てる。ところが和光市は、そういう施設が何もありませんから、なんの関わり合いも持てない、隣の新座、志木はレスリングの会場になるようです。朝霞は軟式野球の会場になるようです。来年の 9 月には、和光は素通りなのか、この界隈にたくさん人が見えるんですけども、残念ながら 和光市には競技施設がないということで、何の関わりも持てなくて、非常に残念というか、さみしい思いです。

少なくともここにいらっしゃる方は、2 度と国体に出会うことないでしょう、こんな寂しい思いを自分達の子供、あるいは孫にはさせたくないというのが、私の本音です。それと樹林公園は私、朝につけ 昼間も あるいは夕方、ランニングコースで良く使うんですね。ここのところ雨が多いものですから、散歩する人が非常に少なくなっています。数日前、いつも私が走っているとウォーキングなさっている高齢のご夫婦に、しばらく見てないものですか、お久しぶりですね、ここ数日お見受けしませんでしたけどどうかなさいました？ と声かけたら、これだけ雨が降ったら散歩も怠ってしまって、2 ~ 3 日歩かないとやはり体の調子が悪くなるので、今日はまた、家内とこうして歩いているんですよと、おっしゃるものから、私は、体育館を建設するから

大丈夫ですよ、近いうちに樹林公園に立派な体育館ができますから、そこで良い汗を流してください、などと偉そうなことを言っていたんですが、樹林公園は非常に利用者が多いです。日曜、祭日には子供が多いですし、普段の日も朝といい、昼といい、夕方だって非常に利用者が多いです。ああいう一角に体育館建設ができれば、いろいろな催しが、本格的な競技だけでなく、できると思うんですね。そして、市民が集まるには、格好な場所だと思うので、一日も早く、せっかく予算が付いているにもかかわらず、設計予算は冷蔵庫に放り込んでしまって、カチンカチンに凍りつつあります。だからそんなことにならないように早く、凍結を解除していただいて設計を急ぎ、コンペでおやりになるようですから、最良の設計を取り入れて、建設に早く着工していただきたい。そんなふうをお願いしたいです。

私は箱物はですね、建設費はあるということですがけれども、維持費とかですね、巨大な経費がかかるということから慎重であるべき、という意見から三つの観点から意見を述べさせていただきたいと思います。第1点は、手続き的な問題なんですけども、アンケートと意見交換会ということですけど、やはり市民の要望を聞く機会は少ないと思いますし、市民参加条例みたいなものができたということなんですけども、そういったものなども含めてですね、急ぐ必要はないかと思えます。こういった機会もそうですし、そういった条例なども利用してですね、もっと皆さんの意見を聞いてからですね、進めても良いのではないかと、そういうことが第1点です。それから第2点はですね、市民のニーズとか地域スポーツの発展ということからなんですけども、ニーズということからですね、例えばアンケートから見てみますと、バドミントン、卓球が1番・2番ですけどもそれ以外でも、必ずしも大きな場所を要するものだけではないと思うんですね。ですから大きな体育館というよりは、地域スポーツの発展ということからすれば、コミュニティセンターとか各地域の、小・中学校の体育館も含めまして、そういった所をより利用できるようにとかですね、そういった方向もあるのではないかと、要するに小さな拠点が数多くある方が良いという観点もあると思います。それから大きな大会などは、けっこう近隣の市などを利用して、ということも伺っておりますので、必ずしも大きな体育館を作る必要があるのかとも思えます。それから私は前に別の市に住んでいたのですが、別の市の経験からいってですね、大きな体育館をその市では作ってですね、地域スポーツより なんていいですか、外から呼んでくるスポーツの方が盛んになったんですけども、地域のスポーツを逆に阻害するようないところもあったんですね、そういうこともありますので、地域スポーツの発展ということからすると、私は疑問があります。それから3番目ですけども、お金をかけるときの優先順位とかか利便性ということですけども、私は和光市の北側に住んでいるんですけども、例えば足なんですけども、今日ここで終わって帰るといってもですね、例えばスポーツでいうとテニスとか、あとアクシスの利用とかですね、今度もし、体育館ができたとしてもそんななんですけども、施設を利用できないんですね、とりあえず循環バスとか路線バスでも良いですが、市民が利用できる形になってないじゃないかとい

うことが、前から疑問に思っていて、むしろそう言ったところも、少し観点が広がりますが、そういった所も優先することも大事ではないか、ということです。

今回のアンケートの結果についてお聞きしたいのですが、2,000名無作為抽出でもって回収が679名だということはですね、内容がさみしいという設問じゃなかったかと思うんですが、それでも33.95というのは、見方によっては多かったのかな、とも思うんですが、679名が答えた訳ですけども、その中にですね481名の方が何らかの意見を答えてる訳ですが、その はい いいえ という簡単な結果だけではなく、481名の意見をですね、これから市民の皆さんに知らせるというお考えはないか？それをお聞きしたいのですが。（担当者説明）

ちょっと基本的な点になると思うんですが、市長は市長に就任されて依頼、一貫して市民参加のまちづくりとか、市民が主人公のまちづくりとおっしゃってしまっていて、昨年の12月議会のときには、体育館問題については、近く制定の市民参加条例の第1番目の諮問にして、その答申を受けて結論を出したいとおっしゃっていたわけですが。ところが市民参加条例は、今の状況では9月議会というふうに伺っておりますが、このことが市民参加条例に図ることがされないままに、3月議会には設計予算が計上された。で6月議会のときには、庁内に体育館建設調査検討会が設けられていたとか、あるいは学者併用体育館の調査も行われていた、ことが明らかになりましたけど、そのことについては、私どもには情報を提供していただけなかった訳です。ズーと外環の蓋かけの上という話しは聞いていましたけれども、同時に三つの中学校の体育館を学者併用にすると伺っていました。ところがそのことについて、どうなったかということについての情報が何も提供されずに、この問題が出てきているという。やはり市長がおっしゃってきた市民参加のまちづくりに反しているのではないか、というふうに思います。したがって、先ほどもアンケート調査結果の詳細については、閲覧をしているとかあるいはホームページに出しているとおっしゃっているのですが、それでは市民に知らせたことにはならないですね。積極的に市民に知らせ、市民の合意を得る手立てが必要ではないかと私は思います。そういう意味では、庁内に作られた調査検討委員会の内容だとか、学者併用の、そういう状況のなかでこの施策をやっていくためには、十分な手立てが必要ではないか、というふうに思います。私自身は白子3丁目に住んでいますから、仮に樹林公園に作られたのでは、ほとんどやっぱり利用できない、それから先ほどご意見にありましたけれども、どういうスポーツがしたいですかという設問のなかでも、やはり身近に利用できる場所が欲しいというのが、大勢の意見のように私も思います。そういう意味では、是非もっと積極的に市民の意見を聞いて、結論を出すようお願いをしたい、というふうに思います。（市長説明）

僕はですね、総合体育館建設を早くしていただきたいと思います。というのはですね、これから

は高齢化の社会が来ると思うんですよね、問題なっている高齢の医療の関係、やっぱり国で高齢の人が負担するとかしないとか、そういう問題がありますよね。健康の問題が1番大きいと思うんですよね。市民1人ひとりが寝たきりにならないように、スポーツで体を鍛える、そういう時代に来ていると思うんですよね。スポーツで体を鍛えるといっても、これはかなり意思の強い人でもなかなかできないもんなんですよね。僕も少年団でサッカーを指導してるんですけども、なんでやってるんだという、自分でなかなか運動できないもんで、グラウンドに行くと子供がいるから運動できると、僕も寝てるんですけども、周1回運動すれば体がずいぶん違います。これは経験してもらえば分ると思うんですけども、やはりこれからは、皆さんが自分で健康に気をつけることが1番大事なことだと思いますね。それでやはり個人個人ではなかなかできない、これからは市、行政を中心にしてですね、やはり体育館関係者、地域の世話人の方々、やっぱり地域ぐるみですね、スポーツ、健康の問題を片付けていかなきゃならない時代に来てると思うんですよね。それにはやはり、皆さんが気楽に集まれる総合体育館が大事だと思います。

あともう1つですね、青少年の問題も大きい問題だと思いますよね、だから気楽に集まれる、いろんな年代の、高齢の方から幼児までが気楽に集まれる総合体育館ですね、いろんな年代の人が、いろんなスポーツをして、自然と会話、コミュニケを取りまして、すばらしい汗をかけばですね、もっと良い時代がくんじゃないかと思います。僕はやっぱり健康の問題、医療の問題、いろんな面ですね、市民の皆さんが集まって、いろんな会話ができる総合体育館が是非、必要だと思っておりますので早急に総合体育館の建設をお願いします。 以上です。

賛成で2度目で発言するので、ちょっと気が引けるんですけども、その大きい体育館が必要ないんじゃないかという意見が先ほどから何件かありましたので、大きい体育館を是非建てて欲しい身としては、説明しておきたいと思います。それはまずですね、私はバドミントンをやるんですが、大会をやる時に最低6面のコートが必要になります。6面のコートを使ってもですね、例えばこれを和光市にはありませんので、ホンダの会社の体育館を借りてたわけです。何で和光市民が1企業の体育館を借りなきゃいけないんだろうか、これ、20年くらい続いてました。それで、ホンダの体育館で6面のバドミントンコートが取れたんですが、それでも6時過ぎまでかかってですね、途中でジャンケンで勝負を決めるとか、そういうような状態を何度も経験しています。それから、4市でのバドミントン大会をやるのですが、和光市の当番の時にでも、その年にでも母親が家に引っ込んで子供を育てれば良いというような意見が出てました。基本的人権をですね、否定するような考えと非常に近いと思っています。それで我々はですね、楽しく大勢で運動をやりたいのです。それには8面のコート、バドミントンにはそれくらい必要です。それからもう1点は、先ほど自然を壊しているということが言われていました。で その非常に大きな犯人になっているものは、理化学研究所では木を植えてですね、例えばお花見のとき和光市民を呼んだりして、その理研は木が多いという状態を作ってます。そして、理研のキャンパスの中に入って

るとホッとすると、そういうような植樹の仕方によってはですね、いくらでも建物と植林とは調和できると、私は思います。例えば皇居に行ってですね、皆さんあの近代的な建物見て、非常に邪魔だと思う人は少ないと思うんです。天皇のご家族が住んでる家はですね、冷房完備で非常に近代的な装置を施して、しかも調和のとれた家を作っている訳です。そういうことで知恵を出して、和光市がやれないことはないと思います。以上です。

あの今の発言もちょっと問題です。基本的な人権の問題に、なんでなるのかですよ。バドミントンの問題は趣味の問題ですよ。和光市の全員が、例えばバドミントンのファンでね、だったら建てるというのも まあ 分からなくもないけど、ただ僕バドミントン大嫌いです。とにかく趣味の強制で建てられちゃたまないですよ。ハッキリ言って、趣味の強制です。基本的人権とはまったく関係ない。それでですね、優先順位の問題っていうのは良く考えるべきなんですよ。やはりコスト面というのは、これは抜きにしては考えられない、なんでも建てればいいから、それはやっぱりおかしな話しです。で あの埼玉のサッカー場、ご存知だと思いますけども、建築コスト 356 億円、年間の維持管理費が 7 億円です。あれこそ埼玉の恥ですよ。いいですか、少子化なんですこれからは、少子化だからこそ建てじゃダメです、ああいう箱物は、優先順位の問題、つまり財政面を考えてくれないと、これから益々税金払う人は、フリーターで満ち溢れるんですから、働くの大嫌いになりますから、これから益々、税金が益々ダウンしてくるのは目に見えているんですよ、ですから税収は益々下がるんで、そこは考えていただかないと。少子化なんです、ですから百年後、つまり 2100 年には人口が 6,500 万人ですか、半分になっちゃうわけですよ。ですからその点も、ちょっと考えてもらわないと。あの優先順位の問題を考えないと、そうしたら何でもやりたい、欲しい、必要だ、バドミントンだ、野球だ、サッカーがしたいなんでもポンポンとできちゃいますよ。そんなこと言ったらキリがないんですよ、ハッキリ言って。趣味のレベルの世界です。それはあるに越したことはないかもしれませんが、コスト面がかかります。ましてはこれからは税収が下がる、若い人は働くのが大嫌い、フリーターばかり、結婚する人も少なく まあ しても離婚でしょうけどね。そういう状況なんで、そこを良く考えてくださいね。 以上です。

今、体育館のことが非常に問題になっているかと思いますが、防災ということについて、あるいは災害ということについての避難場所としては、和光市はそういう施設はないと思います。それを考えると、やっぱり広い、500 人以上が収容できるような施設は必要かなと思います。それから体育館のことで調べた、これは報告という形になるかもしれませんが、先ほどらい中央公民館あるいは南公民館等に、体育館があるよ、というお話をされていたと思いますが、あれはあくまで体育室ということで、キチッとしたルールにのっとった大会が開ける広さではありませんので、例えばこの間、和光市内の中学校のバレーボール大会がありまして、その時お手伝いに

行ったときも、基準に合ったような広さのない中で、3校の生徒達が一生懸命やっていました。やっぱりルールがあってスポーツというのは成り立っていると思いますので、キチンとしたコートで大会が開かれたら良いなと、まず感じました。それから各公民館の体育室あるいは学校等の利用状況ですが、利用する団体は非常に多くて、中央公民館の体育室の利用はほとんど決まっているなかで、やりくりしながらやっています。それから学校の方も、中学校の方はほとんど開放がなくて、夜、部活が終わったあとに、7時過ぎですよ、お借りできるのは。あるいは小学校の場合はお借りできますけれども、利用する団体が非常に多いためにホントに抽選したり、あるいは譲り合って運動をやっているような状態です。それですべてスポーツだけがストレス解消の場所ではないかもしれないんですけども、やっぱり寝たきりの人達を作らないためには、スポーツを通してストレスを解消したり、あるいは樹林公園にそういう建物ができた場合ですね、散歩にこられた方が、どんな物やっているのかなって覗いて、そこから会話ができたり、自分達も何か参加できる物を見つけながら、やっていくということも非常に大事だと思います。それからもうひとつですが、体育協会の場合は4市がひとつということで合同で大会をやっておりますが、いつでも体育館を借りられるんだよ、というお話しがありましたけれども、その体育館にお聞きしましたら、まず、申しわけないですが、年間の事業は4月からということですが、その年の2月のうちに、全部、自分の市の予定を入れてありますので、他市の方が利用できる余地はまったくありませんと、それでも尚且つということだと、その市にホントにお願いして貸していただけるのが、年に1、2回ということでした。個人的にトレーニングルームに通っているという、和光から行っている人も、何人かいるということでした。先ほど遠いところでは、利用する人が少ないというお話しですが、朝霞まで行っても一生懸命やりたいという人もいます。近場にできればもっと利用者も増えると思います。

先ほどから体育館についてのアンケートの方法論ばかり出ているようで、体育館についての討議があまりされてないような気がするんですけども、そういうことについてはどうなのでしょう。私は卓球をやっておりまして、非常に苦労した話を聞いていただきたいと思います。卓球というのは台がないとできないんですよ。ですから小学校、中学校を借りても台がそろいません。大会を開くとなると最低12台ないとダメなんです。12台入るところはない訳ですよ。それを敢えて、地域の公民館等を借りてやりますと半分ぐらいしか台がないわけですね。そうすると時間延長になってしまうんですね、夜の8時、9時までやらないと終わらないんですね。運営をする方にとっては非常に苦痛を伴うわけですけど、それでずっと体育館の建設をお願いしてきまして、やっとここで日の目を見るようになったかなって思ったら、体育館なんて必要ないという声が出たのでまいりましたんで、来てみたんですがそれでホームページも読ませていただきました。優先順位がある、体育館よりもほかの物の方が必要じゃないか、というようなご意見もいっぱい出たので、皆様のご意見を伺いに来たんですけども、あまりそういうご意見がなくて、ア

ンケートの取り方とか、そういうことばかり出ているんでちょっと質問してるんですけども、私は何しろ 20 年来、さっきバドミントンの方もおっしゃってありましたけども、バドミントンだけが体育館を使うわけじゃないんです。バレーボールも使いますし、バスケットボールも使います。地域にある公民館では、個人とか小さなサークルでは出きるんですけども、大会はできないんですよ。先ほどもあちらでおっしゃってましたけれども、他市の体育館を借りて、4 市大会を和光市が当番でやる、そういうこともやりました。非常にやりにくいわけですよ。お願いしながら頭を下げて、やって行く訳ですよ。そういうことも経験してきました。やっと和光市独自の物が出きるなって、喜んでる所なんですけども。それから学校は学校が主体です。私達はあまり借りることはできません。それから国の施設が和光市にいっぱいできているんですけども、そこにも立派な体育館、プールがあるんですけども、それも利用させてもらえないんです。それを利用できるという、作る時にはそういうお話しもあったんですけども、結局は話だけで、実際には利用させてもらえません。そういうこともあって、市独自の体育館が欲しいなって、切望しております。私は、もうこれからはあんまり大会等はやることもないと思うんですけども、やはりこれからの人達のために、それこそこれからの人達のためにお願いしたいと思っております。それから先ほどみどりがなくなるってお話ししてましたけれども、緑を切っているのは国の施設です。ばっさばっさ切って国の施設を作っておりますので、国に要望してもらった方が良のいかなって、言うふうに思います。以上です失礼しました。

私はですね、始めに体育館についての経過の説明がありましたですね。ですからもう十数年も経っているわけです。それと市議会の中でも平成 6 年に議会で、それを承認されてるわけですね。それで何故建設ができなかったのかということが、先ほどの説明の中で、やはり土地がないというのが 1 番の大きな問題点ではなかったのかなってということ、そんな気がする訳です。ですから土地があればすでに建っていたはずなんです。ところがその後から予算の問題がいろいろと出てくると、それを他の方に転用しようというような、そういう発想が議会の中でも出てきたという報告もございましたですね。それはじゃ どういふ方向に使われてきたのかというと医療、福祉なんですよ。やはり福祉というの、これは絶対大事なんだと思うんですよ。先程来から優先順位というのでも出ておりましたけれども、もうすでに、優先順位付けるのであれば、体育館建設というのは 1 番に出てきてもおかしくない訳ですよ。といいますのはやはり先ほど出ておりました医療の問題、要するに健康維持をするという、そういう意味合いからですね、やはり高齢化社会に入ってきている訳ですから、そういう病人を作らないためには、これは健康でなければ絶対にダメなんですよ。じゃ どっちが先なんだ、ということだと思っうんですよ。やはりそれは市民の方々がですね、健康を維持できるような場所を作っていくということも、ひとつ大事だと思っうんですよ。今それが和光市にはないということが残念なんです。先ほど国体の話しも出ましたが、ついこの間コミュニティ会議がございましてですね、ほとんど 60 歳過ぎた方が出られたと

思うんです。そういう人達のなかにもですね、なんで体育館ができないのと、俺達は今外でだけしかできないと、先ほど雨が降ったらできないという話しもありましたけれども、そういう室内の施設があればできるんだと、そうすれば医療費が少なくなる、というようなことを目の前で言っておられました。もう、まったくその通りだと思いますね。で 現在私もですね志木の方へ行っています。志木のトレーニングセンターに実は、通っております。和光市は今土支田の方に1軒ありますよね。これはあの後から知ったんです、 で 今は北朝霞の駅前にもありますね、それから志木の南口の方にも今度新しくオープンしてますね。朝霞にはまた何かできるというお話を聞いております。和光市にもできるような話しを聞いてはいるんですけど、どうなるかそれはわかりません。そこに通っている人達というのは、圧倒的に老人が多いです。それから若い方、主婦の方、それから土、日になりますと、子供さんを連れて来ています。やはりそういう施設があるからこそ、できるんですよ。それが、結局は健康を維持するということにつながって来ると思うんですね。和光市の中では、福祉というものが最優先となっております。どっちが先かということ、やはり考えていかなきゃいけないと、いうふうには思いますね。ですから病気をしたら楽しみがなくなりますよ。やはり健康体でないと、年をとってもですね、楽しい生活ができません。私は、今は健康体でどこも悪いところはないです。それは小さい時からスポーツをやって、今現在も鍛えている、というふうに自分は思っています。ですから、そういう意味合では、医療費というものはかかっておりません。たまに歯が悪くなるとか、その程度の医療費でございます。やはり健康が第一だと思いますね。まっそういう意味合で、市民全体がですね、フリーに行けるような施設というのは、絶対必要だと思います。 以上です。

今日は賛成者の人が多く来るということは予想していたんで、雨が降っていなければもっと反対する人が来ていただいたと思うんですけど、まっそれは良いです。先ほど避難所の件で話しが出しましたが、何も総合体育館に頼らなくても、例えば自衛隊との協力によってですね、自衛隊中の施設を利用していただくことが、いざとなればできるかもしれないと、避難所としてですよ。あるいはサンアゼリアの大ホール、小ホールもいざというときは、使えなくはないですよ。でその避難所という点においては、僕は説得力は非常にないと思います。それとあと大きな大会がやれないというのは、それはやっぱり個別の各個人の問題で、あの全体の問題にされるのは、ホントに困る。大きな大会に関わるのは、和光市の全人口で何パーセントかっていうのも、よく数字で出してください。それによって対極的に判断していかないと、困ると思います。それとあと、健康面において必要だという話しも出ていますが、その前に和光市の公債だって160億円だっけ、もうちょっと まっ 200億円近くあったか、いづれにしてもかなりの額ですよ、市債という点では、で こうやって皆さんがね、必要だから建てる、建てるでね、国の財政が逼迫してくるんですよ。それで敷いては財政難で、もう首が回らない、日本国民の、それを引き継ぐのは若い人ですからね。若い人が払っていかなきゃいけない。ましてや若い人はさっき言ったとおり、フリ

ーターで満ち溢れた時代が、僕は来ると思う。1ドル200円ももう暴落ですよ。ですから財政が逼迫ということ、よく考えていかなきゃダメですよ。もう日本、全国が建てたい建てたいで、建てた結果がそういうふうになっているんです。よく考えてください。以上です。

冒頭の経緯説明の中で、土地がなかなか見つからない、さらに土地代も非常にかかる、という悩みがあったと思うんですね。そこえもってきて、樹林公園のなかで、土地代ゼロで建てられる、市長、おそらくですね、近隣の市長さんと会って、おい野木さん、うまくやったなあって、市長言われんじゃないかと思うんですね。こんな機会をね、逃したら、ほかの市町村から逆にバカにされんじゃないかと、言うような気もするんですね。こんな土地代がゼロで、格好の場所で、市民が集う樹林公園の中に建設できて、朝といい、昼といい、夕方といい、樹林公園と合わせて施設が使えるというのは、願ってもないし、己の健康のため、そして市民の健康のためにもホントに一日も早く、着工の手続きを取ってください。